遠野

市議会だより
2007.1.25
NO.6

すこやか・さんぽ

達曽部保育所・幼稚園

昨年12月16日に行われたクリスマスお楽しみ会。子どもたちは、カラフルな衣装を着て「さる・かに合戦」を演じ、みんなとても満足そうにしていました。

3月には、保育所・幼稚園を卒園し、小学校へ巣立っていく5歳児・そら組12名、元気でがんばってね。

（佐々木栄子所長）

主な内容

11月臨時会
12月定例会

○正副議長が決まる

○地層処分に係る調査の即時中止を求める決議を可決

○一般質問は10名

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています　環境にやさしい植物性100%インキを使用しています。

発行：遠野市議会

改選後の議会構成が決まる

議長あいさつ

遠野市議会議長
河野（かわの）　好宣（よしのぶ）

明けましておめでとうございます。

昨年10月新遠野市としまして初めての市議会議員選挙、その初議会におきまして議長の大役を賜り緊張感とその責任の重さをひしひしと感じております。

合併後1年余り、本市は財政運営を始め市政課題が山積しておりますので、まさに厳しい目で新遠野市の進むべき道筋を見すえ、市行政のチェックと提案をして行かなければなりません。私といたしましても緊張感の中にも切磋琢磨と和の精神をもって議事・議会運営に努めて参ります。

亥年の今年1年が本市はもとより、皆様方にとりましても幸多かれと心からお祈り申し上げましてあいさつといたします。

11月臨時会

一般選挙後の初議会が11月8日に開催され、議長に河野好宣議員、副議長に佐々木幸夫議員を選出したほか常任委員会等の議会構成を決定しました。また、下記人事案件2件を原案のとおり同意しました。

○教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
浅沼敬治氏

○監査委員の選任につき同意を求めることについて
新田勝見（議会選出）

常任委員会等の構成

（◎委員長　○副委員長）

■総務常任委員会　8名
◎菊池　民彌　○浅沼　幸雄　荒川　栄悦
菊池　敏行　伊藤　庄吉　石橋　達八
荻野　桂一　河野　好宣

■教育民生常任委員会　7名
◎佐々木　譲　○照井　文雄　瀧澤　征幸
小松　大成　菊池　邦夫　安部　重幸
佐々木幸夫

■産業建設常任委員会　6名
◎萩野　茂男　○織笠　孝之　菊池巳喜男
多田　誠一　新田　勝見　佐々木　熙

■議会運営委員会　7名
◎菊池　敏行　○伊藤　庄吉　荒川　栄悦
菊池　邦夫　浅沼　幸雄　安部　重幸
石橋　達八

■広聴広報特別委員会　6名
◎瀧澤　征幸　○菊池巳喜男　荒川　栄悦
織笠　孝之　浅沼　幸雄　新田　勝見

■岩手中部広域行政組合議会議員　3名
織笠　孝之　浅沼　幸雄　石橋　達八

■市政調査会　7名
会長　菊池　邦夫　**副会長**　菊池巳喜男
幹事　荒川　栄悦　織笠　孝之　安部　重幸
監事　瀧澤　征幸　小松　大成

■都市計画審議会委員　5名
照井　文雄　荒川　栄悦　織笠　孝之
佐々木幸夫　伊藤　庄吉

■民生委員推薦会委員　2名
菊池　邦夫　安部　重幸

※繰り上げ当選された菊池充議員の所属委員会は、次の本会議において決定されます。

12月定例会

平成18年第7回定例会を12月8日から15日までの8日間開催しました。

今定例会では、一般選挙後初の定例会となり、一般質問には10人の議員が登壇し質問しました。

提案された条例12件、予算8件、その他2件、全22議案を原案のとおり可決しました。

開会日に決議1件を可決したほか、最終日には請願3件を採択、意見書3件と決議1件を可決し閉会しました。

議　案

○遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について

○遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について

○遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

（議案のつづき）
○遠野市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市児童館条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市営バスの運行及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○遠野市消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について
○岩手県後期高齢者医療広域連合の設立の協議について
○岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について
○平成 18 年度遠野市一般会計補正予算（第 2 号）
○平成 18 年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 2 号）浄化槽事業特別会計補正予算（第 2 号）宮守町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
○平成 18 年度遠野市水道事業会計補正予算（第 1 号）

討　論

（反対）後期高齢者医療広域連合の設立の協議について
小松大成議員　後期高齢者医療制度は、75 歳以上のすべての高齢者が新たな負担をしなければならないなど多くの問題がある。広域連合の議員の定数が少なく、制度運営が民主的になされるのか疑問であり反対する。

定例会では 10 人の議員が一般質問を行った。

企業を誘致し定住人口の増大を

菊池 民彌 議員

【質問】企業誘致担当の配効果と誘致見通しは。事業設置条例の改正は。
〔市長〕担当者配置ですぐ果は出ないが数件の立地打がある。施設整備支援等の遇策を検討する。
【質問】自然災害対応危機理担当配置と災害対応マニュアルの各戸配布を。
〔市長〕担当として消防長がその任にある。また、災害に備えたパンフレットを年度内に配布予定である。
【質問】新型交付税制度の導入により来年度の交付減額は。また、納税組合減の歯止め策と育成強化策は。
〔市長〕約 5,000 万円の減予想である。組合減は補助金減が背景にあり、今後組合の分析や望ましい姿等検討する。
【質問】小中学校のいじめの実態と教育委員会等の対応は。また不登校と校内暴力の実態は。
〔教育長〕いじめの調査では小学校 22 件、中学校 34 件で、臨時校長会議で対応等について指導した。不登校生は中学生 13 人で、校内暴力については 16 年度以降ない。

老人の生きがいへの考え方は

佐々木 熙 議員

【質問】今後集落営農が進ば、稲作について高齢者の事が少なくなるが老人の労力を生かす方法を考えるべである。将来に不安のない、望の持てる社会をつくること老人の生きがいにつながる思われるが、そのためにどのうな考えをもっているのか。
〔市長〕これまで、アスト（農業活性化本部）を立ち上げ、生産意欲を高めようと懸命の努力をしているが、これをどう検証して確実な仕組みに持っていくのかに危機感をもっている。先般アストの中間総括を行ったが、各種課題の反省を踏まえて、農業振興のために 19 年度から集中的に作業を行っていきたい。
　農業の生産現場で高齢者が、生涯現役として働けるような環境づくりは、市政課題の大きな位置づけであり、きちんと方向付けし施策を示すことで多くの関係者と協調体制をとりながら、遠野型農業振興を図れるよう対応していきたい。

地層処分の影響調査の中止を

小松 大成 議員

【質問】高レベル放射性廃棄物処理研究を業務の一部とする日本原子力研究開発機構が、市内で地層処分の影響調査活動をしていたことが明らかになった。調査は当面凍結するとの事だが中止を求めるべきではないか。

〔市長〕岩手県とも連携を図りながら即時中止に向け機構側や国に対し、具体的な行動に移していく。

【質問】教育基本法をテーマとした政府主催のタウンミーティングでやらせ質問が明らかになった。この問題に対する市長の見解を伺う。

〔市長〕これまでの地方の努力を水泡にし、今後の内閣と国民との直接対話の機会を失うことにつながることは遺憾である。

【その他質問事項】

・後期高齢者医療制度創設に対する市長の見解を伺う。

・キャトルセンターの創設の考えはないか。

若者に働く場の確保を

菊池 敏行 議員

【質問】当市には人口減少や少子高齢化、農業問題等多くの課題がある。その課題解決にはさまざまな対応策が必要と思われるが、働く場を確保することが基本ではないかと考えている。

現在の人口減少は死亡による自然減につづいて卒業により就職、進学による市外への流出が大きいと思われるが、遠野に若者が多くなれば将来結婚し子どもが生まれる。高校の卒業生には、遠野に残りたい、働きたいと考えている生徒が多くおり、そのためにも働く場を確保していくべきではないか。

〔市長〕高速道路の開通により近隣市町村への通勤時間も短縮でき、北上川周辺や沿岸部の市町村の企業などを広域的な働く場とすることも視野に入れる必要がある。また、宮守地区に北上川周辺への通勤者向けの住宅団地の整備や、格安な宅地分譲などを検討していく。

【その他質問事項】

・市民協働について

市村合併の効果と現状認識は

佐々木 譲 議員

【質問】まちづくり基本理念として二つの個性が融合しとあるが、どのようにとらえているのか。

〔市長〕旧市村が築いてきたそれぞれの歩みと特徴を大切にしながらまちづくりを進める。

【質問】宮守町の現状認識と「宮守地域まちづくり会議」「千年の森づくり連絡協議会」の活動状況と課題点は。

〔市長〕「宮守地域まちづくり会議」は4回開催し、支所とその周辺施設の有効活用・共同事業特別助成交付金の取り扱い・コミュニティー施設のあり方等を検討した。

【質問】中学校の再編について、教育懇話会の実施状況と問題点は何か。

〔教育長〕再編計画の基本方向（免許外教員の解消・5種類以上の部活組織、スクールバス通学時間は片道60分以内）を討議し多くの意見が出た。来年1月には市内11会場で「市民懇談会」を開催し、市民の理解を深め19年12月までに中学校再編の全体計画をまとめる予定である。

行政経営の時代に向けて

石橋 達八 議員

【質問】大きな行政環境の変化が始まっている。「行政改革推進法」、「公共サービス改革法」等による総人件費改革、公共サービス改革、地方公会計改革について、遠野市ではどのように取り組むか。また来年度予算編成の基本姿勢を伺う。

〔市長〕これまで、経営改革大綱、健全財政5カ年計画を策定し公表してきた。さらに総合計画を策定し、実施計画の調整をしており、これらの着実な推進が重要である。

19年度予算編成方針は、①遠野市総合計画前期基本計画に基づき市民福祉の向上、均衡ある発展に向けた事業の推進。②健全財政の取り組み強化による聖域なき見直し。③経常的一般財源の5％削減。④市民協働による行政の役割検証。これらにより経営改革大綱、健全財政5カ年計画での人件費、公債費の抑制、補助金の見直し、民間委託、投資的経費の抑制・重点化による歳出全般の削減を図り、財政健全化を維持する。

市政運営の基本的方向は

安部 重幸 議員

【質問】三役特別職の給与縮減と一般職手当縮減に伴う財政効果は。また、市民協働のもとにゴミの減量を進めて、ゴミ処理料等の経費削減に努めるべきではないか。

〔市長〕経営改革大綱による三役等の給与改定等削減効果は、単年度で1,100万円程度となっている。また市民協働によるまちづくりにより財源を有効活用し、効率的な行政運営を進める。

【質問】合併して1年、各種イベントが多く、その費用対効果を検証しているか。

〔市長〕イベントについてはその必要性、PR性、費用対効果を検証しながら実施していく。

【質問】国道340号土淵バイパス工事が事業採択になれば、立丸峠トンネル化にも弾みがつくと思われるが。

〔市長〕地域経済の活性化、住民生活の利便性向上を図るため、早期整備を東北地方整備局及び県に本年2回要望しており、今後も要望活動を行っていく予定である。

地産地消の推進について

瀧澤 征幸 議員

【質問】来年4月から遠野・釜石間の自動車専用道路とバイパスへの接続道路の供用が開始されるが、遠野市が食料供給基地して名実ともにそのターミナルとして位置づけられることが重要である。現在上郷町で統一要望として市に提出している産直構想について、早急かつ現実的な取り組みが求められている。また、基幹産業である農業と農村社会にもう一度元気を取り戻し、市民が安心・安全な食生活を享受できるよう、生産者や事業者、市民一人ひとりが協働し、日常の中に地産地消の意識を定着させ、しっかり土着したものとすれば、自ずと遠野農業の未来が拓かれていくと考えるが。

〔市長〕地産地消についてはきちんとした経営戦略が必要であり、地産地消の意識を徹底し、地元で作ったものを全量消費できるような環境づくりに努めて参りたい。産直構想についても基本構想や遠野広域経済圏構想の中でその位置づけを早急に図っていきたい。

合併一年、産業振興対策等は

菊池 巳喜男 議員

【質問】担い手、集落営農対策で市と農協等との連携は図られているのか。

〔市長〕遠野担い手支援センターを中心に活動の検証を行いながら市としての方向性を定めている。

【質問】高速道路開通に向け、遠野の玄関口となる宮守IC周辺を工業団地化し強固な企業誘致対策としてはどうか。

〔市長〕市全体の位置付けが必要で慎重に検討していく。

【質問】和牛改良の向上のため、業務の一元化の方向は。また、遠野らしさを生かす牧場風景の中で観光客等へ休憩施設・トイレ等の整備の考えは。

〔市長〕現状を継続した場合と改革後のメリット、デメリットを見極め調整を図っている。公共牧場の持つ景観は有力な資源だ。高度な利用価値を見出し具体化していきたい。

【質問】少子高齢化における郷土芸能の保存対策は。

〔教育長〕発表の場の支援、不足する衣装・道具類の整備や映像記録保存、郷土芸能団体の活動支援を行っていく。

市民協働について

浅沼 幸雄 議員

【質問】「市民協働」という考え方は、最近では全国いたる所で叫ばれている。当市でも少なくとも合併協議の段階から総合計画策定に至るまでの過程において常に重要な骨格をなしているものと認識しているが、一口で市民協働と言ってもプロジェクトの大小や専門性の有無などによって、大別して「行政主導型」「行政・住民対等型」「住民主導型」の3つに分類されると考える。これらの型をどのように組み合わせて協働を進めれば、住民が自主性や自立心を持って市政に参画することができると考えるか。

〔市長〕3つの型が役割分担され、住み分けをされながら組み合わさっていくことによって本当の意味での市民協働になると考える。自主性・自立性については意識の問題であり、「市職員も市民としてもっと地域の活動に入るべきだ」とよく言われるので、この部分の取り組みも強めながら市民協働の仕組みを完全なものにしていきたい。

予算等審査特別委員会 12月13日~14日

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、条例12件、予算8件、その他2件の22議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では、一般会計補正予算等が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全22議案が原案のとおり可決されました。

活発な委員会審議が行われた。

どうなる遠野農業の将来

指定管理者制度について

【質問】現在数箇所の施設を指定管理者に管理させているが、残りの施設はいつから管理させるのか。また管理者の選定方法は公募にするのか。

〔答弁〕管理については平成19年4月実施に向けて検討中で、選定方法については公募も一つの方法として検討している。

【質問】指定管理者に管理委託する際に、業務内容について詳細にわたった指示が必要と思われるが。

〔答弁〕施設の管理仕様書等を示して業務を委託する考えである。

【質問】事故等があった場合の責任はどうなるのか。

〔答弁〕施設を設置した行政側にも行政責任はあることになる。指定管理者が仕様書どおりの管理体制を実施しているか行政側としても点検を実施していく。

品目横断的経営安定対策が今後導入される。

スローライフ月間の行事設定について

【質問】スローライフ月間で28もの行事が開催された。これらの行事が市議会議員選挙とダブり、個人演説の会場にも影響が出た。この期間に、さまざまな行事を組んでいるために予定を変更しないで無視して進めたのではないか。

〔答弁〕この期間の行事予定は前から組んでいた。全国規模の行事が重なったため、調整してダブらないように心がけていたが、迷惑をかけた部分もあった。今後事務事業評価の結果を踏まえて、事業の見直しを行い次年度に生かしていきたい。

品目横断的経営安定対策への対応は

【質問】この政策は、家族経営が崩れることとも考えられるが、対策や支援が必要ではないか。

〔答弁〕現在進行中の27集落を加入申請できる状態にし、モデル集落としたい。

【質問】経理の一元化時期がはっきりする事により取り組みが積極化するのでは。いつまでに示せるか。

〔答弁〕協議会のようなものを創り、経理の一元化をしたい。3月中にはシステムを構築させていきたい。

【質問】認定農業者との間で農地の貸しはがしの不安があるが関わりについてはどうか。

〔答弁〕担い手と一緒になり進めていく方法をとる。

【質問】集落リーダーを育てる事が必要。集落の状況に合ったシステムを創る人づくりが必要と考えるが。

〔答弁〕コーディネーターと相談し育成に努めたい。

結いの市での販売状況は

【質問】盛岡南イオンショッピングセンターの結いの市が9月に開店し、農産物など多くの物産が販売されているようだが、実際のところ販売目標からみてどのような経過と判断しているのか。

〔答弁〕開店して2ヶ月間は、目標を大きく上回る売上げを達成することができた。最近になって、店舗全体の魅力という点でもくろみどおりではなかったことで、ここ1ヶ月の売上げは落ちている。しかし、今後イオンとしても集客努力をしていくことになっている。現時点での収支については、まだ3ヶ月ほどしか経っていないので、楽観もできないが悲観するような状況ではない。出店にあたっては初期投資をしており、今後1、2年かけて、売上げなどの収支について判断する。

交流施設管理費2,500万円の使途は

【質問】㈱ブロイハウスに支出する2,500万円の使途は。

〔答弁〕かしわぎだいら交流施設を管理運営する2つの第3セクターは赤字体質である。㈱ブロイハウスに関して、地ビールブランドの存続を図るためにも民間の経営手法が必要であり、現時点での債務の一掃は、民間スポンサーの協力を得る前提条件である。そのための今回の財政支援である。

【質問】今回の財政支援は、決算書からも将来の赤字解消は疑問であり、交流施設を清算してはどうか。

〔答弁〕赤字体質となった責任は認めるが、民間スポンサーの資金・経営手法を導入し経営を継続して赤字を解消し、地ビールブランドの存続により地域振興、活性化を図りたい。最終的には、民間への経営移行はあり得ると思われる。

宮守ブロイハウスの今後の活用が望まれる。

東北横断自動車道ICの建設予定地は

【質問】東北横断自動車道遠野釜石間の進捗状況はどうなっているか。

〔答弁〕遠野宮守間は、説明会を開催し、地盤調査や予備設計ができた段階である。釜石側は仙人峠道路、上郷道路の工事は遅れ気味だが、3月供用開始に向けていると承知している。

【質問】国土交通大臣から発表された遠野側のインターチェンジの建設予定地は、綾織町新里の間木野地区か。

〔答弁〕インターチェンジの建設予定地は、発表通り新里地区と現状では承知している。

養護学校分教室の内容について

【質問】遠野小学校に養護学校分教室が設置されるが、県からの支援はどうなっているのか。

〔答弁〕ハードの部分については遠野市が、ソフトの部分については県がという形において県内で初めて設置する。

【質問】予定として2教室12名という規模で開設されるようだが、現時点ではどのくらいの人数の利用が見込まれるのか。また、その人数に応じた職員が十分配置されるよう要望する。

〔答弁〕現在のところ確定した人数は決まっていない。県内の養護学校へ通っている方や来年度新しく入学する児童で対象となる方を就学指導委員会等で検討している。花巻養護学校の方からは、現在通っている児童についての報告はまだない。

議員談話室

「改革」、最近よく見聞きする言葉である。今なぜ改革なのか。戦後長い間、開発・建設の名のもとに発展を続けたが、収支のバランス無視で、収入が不足すれば借り入れをして投資し続けた結果、今改革が必要ということである。

国は改革なくして発展なしとしているが、地方は国の財政改革で歳入不足がそのまま運営難に陥る。地方の側に問題があるとすれば、独自の改革のあり方を見定める必要がある。改革は言われて行うものでなく、常に心がけなければならない。地方にできる改革は、意識改革こそが大切であり、そこから本当の改革ができると思われる。議員も議会としても、徹底した議論と活動を重ねて改革の実を挙げたいものと思う。（佐々木熙議員）

請願審査報告

今定例会には３件の請願が提出されました。
委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

■安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める請願
〔請願者　岩手県医療労働組合連合会執行委員長　佐々木茂喜〕
審議結果　採択

■療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める請願
〔請願者　岩手県社会保障推進協議会会長　高橋　八郎〕
審議結果　採択

■後期高齢者医療制度の充実を求める請願
〔請願者　岩手県保険医協会会長　箱石　勝見〕
審議結果　採択

議員発議案

今定例会には、５件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書・決議は以下のとおり。

■安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める意見書

■療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める意見書

■後期高齢者医療制度の充実を求める意見書

■菊池久康議員の辞職勧告に関する決議

■「地層処分に係る水文地質学的変化による影響に関する調査」の即時中止を求める決議（本文右記）

3月定例会の予定

◆定例会は2月23日（金）開会の予定です。
詳しくは議会事務局まで。
○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。
議会事務局62-2111（内線271）
gikai@city.tono.iwate.jp

わたしのひとこと

成人にあたって

千葉 ゆう子さん（宮守町達曽部）

成人に達した実感は、実のところあまりなかったのですが、昨年の市議会議員選挙で入場券が郵送されてきたことで、成人に達したことを実感しました。
私は今、学校で「公益学」を学んでいます。卒業まで残されたあと２年、将来に向けて学ぶことが私の課題だと思っています。
これから世界中のいろいろな方と出会い、話をして、多くのことを学んでみたいと思います。どんな人に会えるのか、どんな話ができるのか不安な点もありますが、未知の世界に対する楽しみの方が今は大きいです。何事にもできる限りチャレンジしてみるつもりです。

「地層処分に係る水文地質学的変化による影響に関する調査」の即時中止を求める決議

独立行政法人日本原子力研究開発機構が当市において実施している「地層処分に係る水文地質学的変化による影響に関する調査」は、高レベル放射性廃棄物の地層処分の候補地選定につながりかねないという不安や懸念を市民に与えるものであり、まちづくりの将来像を「永遠の日本のふるさと遠野」と定め、自然、歴史、文化、そして伝統を大切に守り育ててきた当市のまちづくりの理念に相反するものである。
また、県内外から訪れるこの遠野郷を愛してやまない方々に対する影響を鑑み、この調査に対して反対を表明し、即時中止を求めるものである。

以上決議する。

平成18年12月15日　　遠野市議会

編集後記

委員長あいさつ

■広聴広報特別委員会
瀧澤 征幸　菊池 巳喜男
荒川 栄悦　織笠 孝之
浅沼 幸雄　新田 勝見

旧宮守村と旧遠野市が合併し、１年１ヶ月の議員在任特例期間が終了、市議会議員選挙が行われ、この度、不肖私が当特別委員会の委員長に選任され、その重責をひしひしと感じております。この組織は、市民の皆様のご意見・ご要望をしっかりと受けて議会や行政に反映させること、議会としての説明責任を果たすことがその主な目的であります。
これからの情報社会に向けて、インターネット等による迅速な通信や情報の共有が求められており、当委員会としても広聴広報の主旨をしっかり捉え、特にも広聴の部分の充実を急がなければなりません。
この議会だよりにおいては、限られた紙面での発行となります。委員全員が協力し合い、更なる充実を図り、愛される議会報づくりに努めて参りますので、どうか今後ともご愛読くださるようお願い申し上げ、委員長就任のご挨拶といたします。（瀧）

編集／広聴広報特別委員会　住所／〒028-0592 岩手県遠野市東館町8番12号　電話／0198-62-2111　印刷：株式会社 菊忠印刷